

百人一首 (うたばんごう 歌番号:41 ~ 45)

あはれとも
いふべき人は
おもほえで
身のいたづらに
なりぬべきかな

謙徳公
けんとくこう



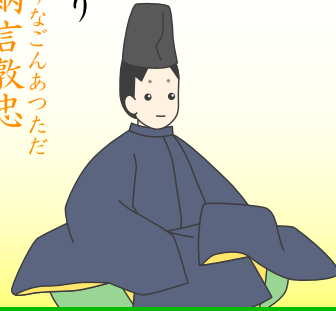
逢ふことの
絶えてしなくは
なかなかに
人をも身をも
恨みざらまし

中納言朝忠
ちゅうなごんあさただ



逢ひ見ての
後の心に
くらぶれば
むかしものを
昔は物を
思はざりけり

中納言敦忠
ちゅうなごんあつただ



契りきな
かたみに袖を
しぼりつつ
末の松山
波越さじとは

清原元輔
きよはらのもとすけ



恋すてふ
わが名はまだき
立ちにけり
人知れずこそ
思ひそめしか

壬生忠見
みぶのただみ



みのいたづ
らになりぬ
べきかな

ひとをもみ
をもうらみ
ざらまし

むかしはも
のをおもわ
ざりけり

すえのまつ
やまなみこ
さじとは

ひとしれず
こそおもい
そめしか